



## .....その介助あなたもされたいですか? .....

### ～人権擁護委員会～

「その介助 あなたもされたいですか」これは毎朝なでしこ職員が復唱している標語復唱運動です。毎月標語は変わり、「一言欲しいな触れる前に」、「マスクでも 笑顔で挨拶 つながる心」など、利用者さんの気持ちを考えて接することが出来るような標語を復唱することで、なでしこ職員全員が人権への意識を高めています。このようななでしこでの人権に関する取り組みを人権擁護委員会が行っています。

その他にも虐待事案の予兆を素早く発見する観察力を高めるために、「早期発見チェックリスト」を行っています。多くの項目があてはまるようであれば虐待の可能性が高いと考えられるため、早急に事実確認を行い、管理者を含めた委員会等で複数名による報告内容の確認を行います。

(指導員：一星)

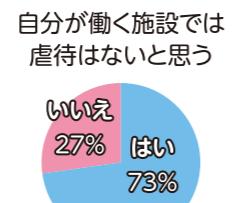
### R4年度 自己点検アンケートより

「自分が働く施設では虐待はない」に対して「はい」と答えた職員は73%と多かった。しかしながらなでしこでは気持ちを伝えるのが難しい利用者さんの方が多い。数字以上に虐待または不適切な対応が起きている可能性があると常に意識して介助や看護、意思決定支援を行っていかなければならぬ。

次のグラフの「自分や他職員の看護、介護の仕方に疑問を感じる

事がある」では「はい」が55%と上回った。職員が看護、介護の仕方に疑問を感じたまま働いていて、すぐに解消できる環境ではないと読み取ることもできる。疑問を感じる感性があるともとれる。疑問を感じたらすぐに話し合い

ができる環境づくりや機会を設けて、常に介護や看護の質を上げていきたい。



自分が働く施設では虐待はないと思う



自分が働く施設では虐待はないと思う

## .....秋の収穫遊び.....

### ～いっぱい収穫するぞ～



令和4年9月26日(月)～9月30日(金)の一週間に秋の収穫遊びの行事を行いました。行事の日までに活動の時間を使って、自分のすきなように折紙をビニールテープで貼り、色々な大きさや形の柿、リンゴ、栗、きのこの4種類を沢山作りました。そして当日、木などに飾り付けした果物や野菜を職員と収穫に周りました。自分の気に入った物をここまで2つずつ収穫し裏に書いてある点数の合計を足して順位を決める遊びです。どれに良い点がついているのか

わからずドキドキでしたが、自分の気に入った物を選び手に取ってもらうことで満足感を得られ、その後は結果発表で盛り上がりいました。

大きい物や小さい物を選んだり一人一人の個性が發揮できた行事になりました。なかなか外に实物を見に行けないので手作りではありますが、通所の中で秋を感じていただけたと思います。

最後に収穫した物を並

べ写真を撮り笑顔で行事を締めくくりました。

(通所介護士：竹中)



## .....絵の具を自由に飛ばして! .....



季節も梅雨から真夏へと変わってきたところで「壁面も夏に!!」と、筆を持って自由に選んだカラーで、絵の具を飛ばしてみようと計画を立てました。

しかし、いまいちの天候が続き、なかなか実行できずにいましたが、ついに、今日しかないというくらいの晴天の日がきました!! 車椅子に乗車し、順番に中庭へ

出て笑顔で筆を振りました。終わった人から部屋に戻りますが、楽しくてまだ戻りたくないアピールをする利用者さんもいました。

出来上がった作品はインパクトがあり、元気溢れる配色になったので、色画用紙で作った夏の食材と一緒にそのまま壁面にドーン!と貼り付けました。

(入所保育士：田端)



## .....第16回みえる輪ネット.....

令和4年7月31日(日)、第16回みえる輪ネット(平成29年10月)で事例報告にご協力いただいた児童のその後の経過を発表していました。第16回はみえる輪ネット史上最多の発表者数となり、様々な視点の報告を聞くことができ、大変充実した内容になりました。報告を通じて、多くの人々が児童に関わり、取り巻く環境が変化していったのが伝わってきました。報告を通じて、多くの人々が児童に関わり、取り巻く環境が変化していったのが伝わってきました。また多気町の事例報告では第4回

みえる輪ネット(平成29年10月)で事例報告にご協力いただいた児童のその後の経過を発表していました。

担当者一同、準備に努めていたと思います。

(指導員：別所)

第17回みえる輪ネットは令和4年11月20日(日)に開催されました。次回のなでしこ通信でお伝えします。第18回は令和5年2月26日(日)に開催予定です。